



プロンプトの書き方

プロンプトの作成においては、5つの構成要素が存在します。それぞれの頭文字をつなげると「PARTS」になります。プロンプトの「PARTS(部品)」として、これらの要素を覚えておきましょう：Persona(ペルソナ)、Aim(目的)、Recipients(受け手)、Theme(テーマ)、Structure(構成)。

1

Persona(ペルソナ): 役割の特定

自分がどんな人物であるか説明することで、リクエストに関するコンテキストを設定します。例

- 私はリソースギャップ分析を行っている数学科の責任者です。
- 私は文化イマージョンに関するアクティビティを計画しようとしているスペイン語教師です。

2

Aim(目的): 目標の明示

コンテキストを指定したうえで、特定のタスクを実行するよう命令します。例

- [コンテキストを入力] に関するアイデアを複数出してください。
- [コンテキストを入力] に対する評価を作成してください。

3

Recipients(受け手): 読み手の指定

出力文の想定読者を詳細に説明します。例学校の予算委員会、スペイン語を4年以上学習している高校2年生、中学3年生を受け持つ生活科の教師などが読み手となります。

4

Theme(テーマ): スタイル、トーン、その他関連するパラメータの説明

例: たとえば、フォーマルな文体を使用する、50単語以下の文章を作成する、ポップカルチャーへの言及を含める、情熱的なトーンにする、といった指示をAIツールに対して行います。

5

Structure(構成): 希望する出力形式の指定

例: たとえば、箇条書きにする、隠喩や比喩を使う、スケッチやグラフを使う、クイズやゲーム、コード、あるいは絵文字を使うといったことをAIツールに依頼できます。



プロンプト テンプレート

以下のテンプレートをもとにオリジナルのプロンプトを作成してみましょう。私は [ペルソナを入力] です。[目的や受け手を指定]。[テーマや構成を説明]。

例: 私は中学校の歴史教師です。中学2年生向けに、デジタル年表を協力して作成する魅力的な授業内アクティビティを考えてください。アクティビティには、ストーリーテリングとテクノロジーを取り入れてください。割り当て時間は3~4時間(1時間限は60分)です。概要としてまとめてください。